

NPO法人シビルNPO連携プラットフォーム(CNCP、山本卓朗代表理事)は24日、シビル分野でのソーシャルビジネスの普及を目的として新たに創設した「CNCPアワード2016」(後援・国土交通省、日刊建設工業新聞社など)の受賞者を発表した。

優れたソーシャルビジネスを展開している事業が対象となる「ベスト・プラクティス部門」は、最優秀賞に「土のう工法の普及活動を通じた未舗装道路整備のインフラ化」を選定。優秀賞は該当がなかった。

CNCPアワードは、安全・安心・河川・水辺、

の維持管理を支援する有

限責任事業組合)(NPO法人シビルサポートネットワーク)を選定。優秀賞は該当がなかった。

CNCPアワードは、

第1回は2部門3件選定 シビルNPO連携 プラットフォーム CNCPアワード

選ばれた。優れた事業企

画が対象の「ベスト・アイデア部門」は最優秀賞に決定した。

「地方自治体のインフラの維持管理を支援する有

限責任事業組合)(NPO法人シビルサポートネットワーク)を選定。優秀賞は該当がなかった。

CNCPアワードは、

安全・安心・河川・水辺、

本社後援

道路・交通、地域活性化、自然・環境などの事業を通じてよりよい社会へと改善していくシビル分野

でのソーシャルビジネスの普及を目的に創設。社会的課題の解決を図る優れた事業や企画を表彰する。第1回となる本年度は2部門で計20件の応募があり、谷本寛治早大教

員会が選定を行い、8月の理事会で受賞者を正式に決定した。

会の生活道路と、不足する雇用機会という二つの社会的課題に対し、資機材などを現地で調達して実施できる工法を提案。施工のための研修も行い、現地での事業化を実現した。

東日本大震災後における防災活動等の支援活動」は、表彰式と受賞者のプレゼンテーションは10月31日午後3時30分から、東京都新宿区の土木学会講堂で行う。

員会が選定を行い、8月の理事会で受賞者を正式に決定した。

成計画に協議会員の要望を反映させ、一日も早く

恒久住宅に移転できるよう支援を行った。

は、ケニアの未整備状態の生活道路と、不足する雇用機会という二つの社会的課題に対し、資機材などを現地で調達して実施できる工法を提案。施工のための研修も行い、現地での事業化を実現した。

方自治体が抱える社会的課題を解決するため、インフラの維持管理を総合的に支援する有限責任事業組合を設立し、市区町村の長寿命化修繕計画の実施を支援することを提案している。

東日本大震災後に指定移転先の一つとなつた東松島市あおい地区における防災集団移転等の支援活動」は、表彰式と受賞者のプレゼンテーションは10月31日午後3時30分から、東京都新宿区の土木学会講堂で行う。